

維持管理に関する目標と具体的内容 (大臣管理区間)

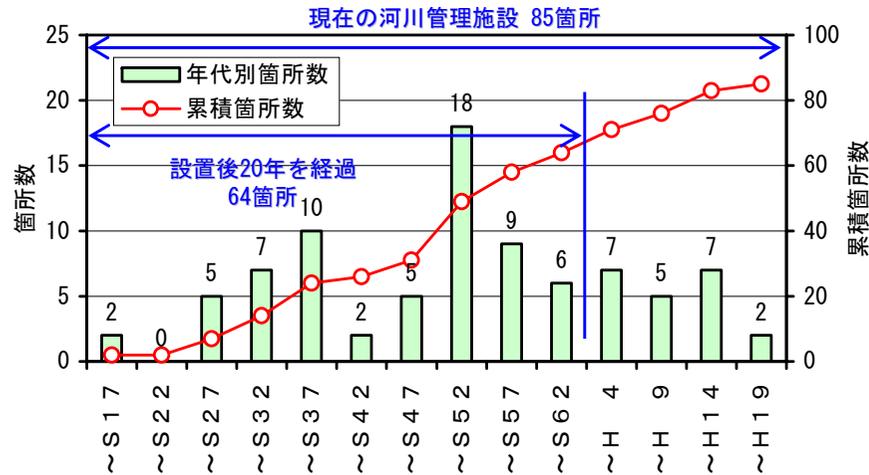
- I. 現状と課題
- II. 維持管理の基本的な方針
- III. 具体的な維持管理

平成20年12月8日

国土交通省 東北地方整備局

◆ 河川管理施設の適切な維持管理

- ・ 大部分の施設が設置後20年以上経過、老朽化も進行しているため、効率的な機能維持が必要



<水門等の整備年代(5年毎)>



◆ 危機管理体制

- ・ 洪水時、地域住民や地方自治体への情報提供や避難行動支援
- ・ 水質事故等への迅速な対応



水防活動状況



オイルフェンス設置訓練

◆ 河道の維持管理

- ・ 河道内樹木および河畔林の適切な管理が必要



樹木繁茂状況 (10.0k付近)

◆ 渇水対策

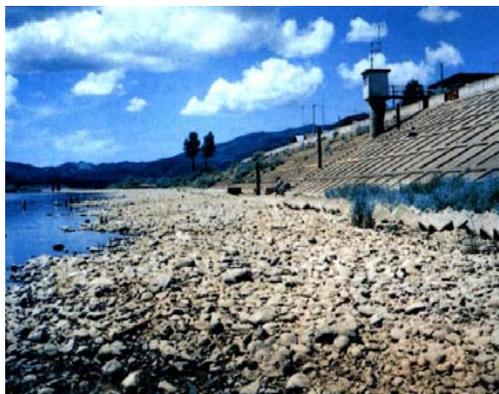
- 米代川における主な渇水は、広範囲にわたり深刻な被害をもたらした昭和48年渇水をはじめ、以降昭和53年、昭和57年、昭和59年、昭和60年、昭和63年、平成元年、平成4年、平成11年、平成19年と慢性的に発生している。



昭和53年渇水時新聞記事
(出典：秋田魁新報)



平成元年渇水時新聞記事
(出典：北羽新報)



米代川 平成11年渇水時

◆ 河川空間の管理

- 米代川の年間河川空間利用者数は約46万人と日常的に、多くの人に利用されている。
- 米代川水系では、豊かな自然と触れ合うことができる川づくりを推進し、親水施設が多数整備されている。
- このため、流域住民が安全で快適に利用できる河川空間を提供する必要がある。
- 河川区域内の不法占用・不法行為対策が必要である。



河川敷でのスポーツ



河川敷でのウォーキング



中川原桜堤防



鷹巣河川公園



せせらぎ水路

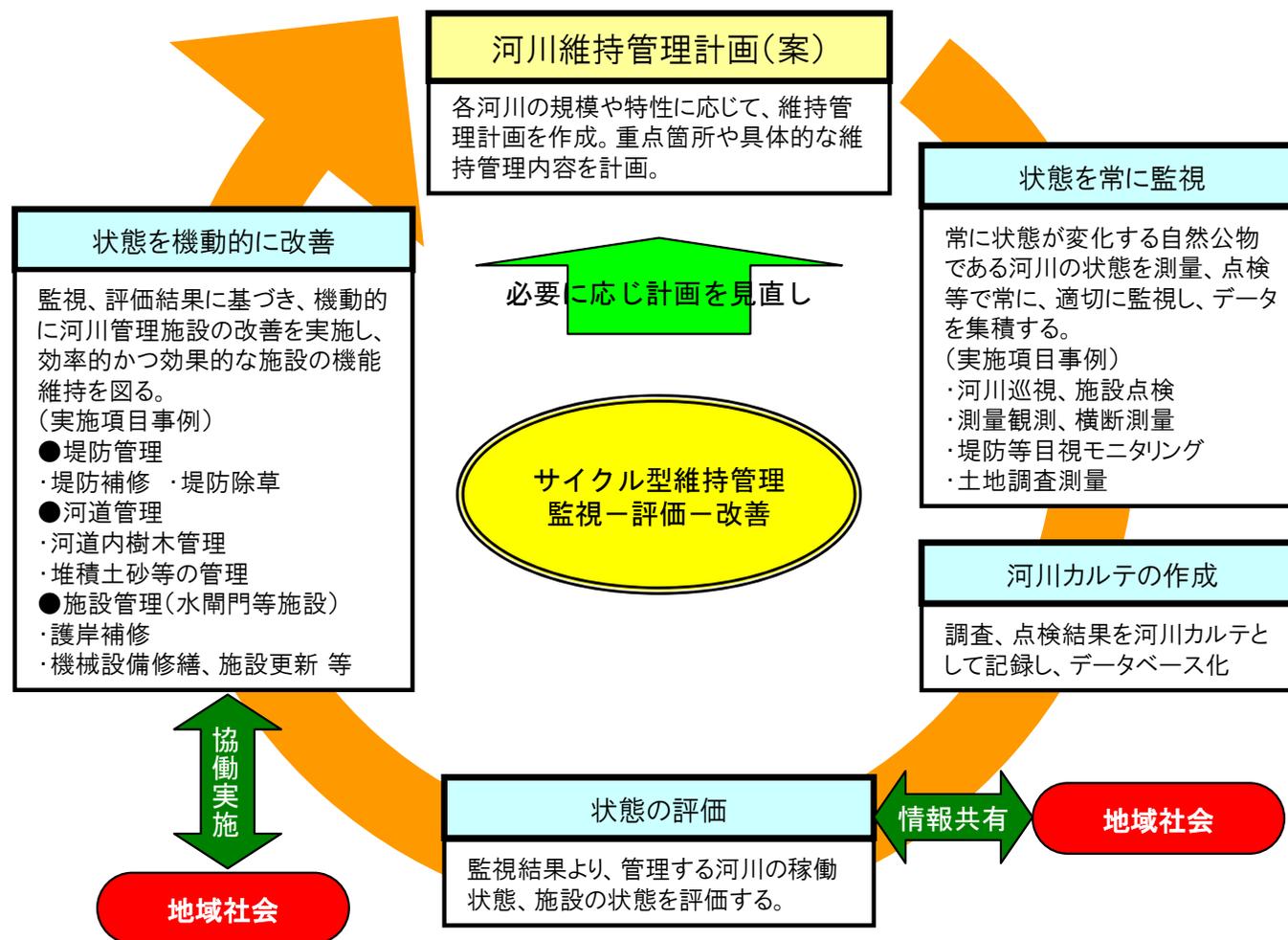


不法投棄状況

◆ 具体的な河川管理の方策

維持管理の実施にあたっては、米代川の河川特性を踏まえ、河川管理上の重点箇所や実施内容など、具体的な維持管理の計画を作成するとともに、河川の状態変化の監視、状態の評価、評価結果に基づく改善を一連のサイクルとした「サイクル型維持管理」により効率的・効果的に実施します。

また、河川は常に変化する自然公物であるため、状態把握を確実に実施し、その結果を河川カルテとして記録・保存し、河川管理の基礎データとして活用します。



サイクル型維持管理のイメージ

河道及び施設の機能維持を図る

- ・河川巡視・点検により、河道及び施設の状態を把握
- ・施設の状態を評価し、効率的な維持補修を実施



河川巡視



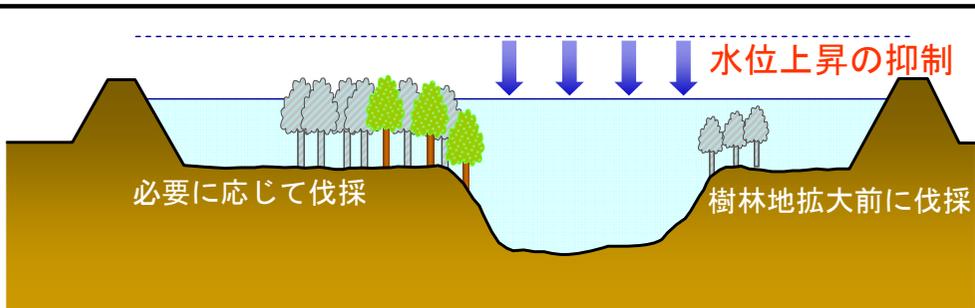
河川管理施設の点検



堤防除草

- ・現地調査及び水理解析により流下阻害となる地区を抽出し伐採・モニタリング等適正な管理を行う
- ・伐採にあたっては、特定種や鳥類の生息環境等に配慮するとともに、学識者等の意見も踏まえ実施する
- ・伐採方法は極力皆伐を避け、周辺環境に配慮した間伐を主体に行う

適切な管理を実施



- ・流下阻害にならないよう適正に管理し、樹木群の環境面の機能を考慮しつつ必要に応じて伐採を実施する

危機管理体制の整備・強化

- ・洪水・高潮・事故等の発生を想定した訓練
- ・洪水ハザードマップの作成支援
- ・河川の状態をリアルタイム映像で3市に提供
- ・河川水位の危険度を示した表示板を設置



重要水防箇所合同巡視実施状況



オイルフェンス設置訓練



危機管理演習実施状況



悪土川救急排水ポンプ稼働状況



洪水ハザードマップ
(能代市ニツ井町)



防災マップ
(大館市)



橋脚水位線標示(银杏橋)

渇水への対策

- ・ 渇水情報連絡会議を実施
- ・ 関係機関と連携した渇水被害の軽減に努める

平成20年度
米代川水系渇水情報連絡会議



渇水情報連絡会開催状況



春の少雨で渇水懸念
米代川水系 情報の共有体制確認
米代川水系 米代川国道事務所は、昨秋から、春の少雨による渇水懸念を踏まえ、関係機関との連携強化を確立した連絡会（能代河川国道事務所）を開催した。

米代川水系 米代川国道事務所は、昨秋から、春の少雨による渇水懸念を踏まえ、関係機関との連携強化を確立した連絡会（能代河川国道事務所）を開催した。

米代川水系 米代川国道事務所は、昨秋から、春の少雨による渇水懸念を踏まえ、関係機関との連携強化を確立した連絡会（能代河川国道事務所）を開催した。

平成20年渇水時新聞記事
(出典：北羽新報)



ホームページによる
渇水情報の提供

安全な河川空間の提供

- ・ 安全利用点検を施設管理者や利用者と合同で実施
- ・ 点検結果に基づき、親水施設の維持修繕を実施



地域と連携したクリーンアップ作戦



地域住民との合同での安全利用点検



占有者との施設合同点検

河川の維持管理

1. 河川の調査

- 1-1 河川の巡視・点検
- 1-2 河道状況の把握
- 1-3 洪水後（洪水時）の状況把握
- 1-4 水文観測調査

2. 河川管理施設の維持管理

- 2-1 堤防・護岸等の維持管理
- 2-2 樋門・樋管等の維持管理

3. 河道の維持管理

- 3-1 樹木管理
- 3-2 堆積土砂等の管理

4. 河川空間の維持管理

- 4-1 河川空間の保全と利用
- 4-2 不法占用・不法行為等の防止
- 4-3 環境教育の支援
- 4-4 河川愛護の啓発

5. 管理の高度化

危機管理体制の整備・強化

1. 洪水時の対応

- 1-1 洪水予報及び水防警報等の発令
- 1-2 洪水時の巡視
- 1-3 河川管理施設の操作等
- 1-4 内水対応

2. 地震・津波時の対応

3. 水質事故時の対応

4. 渇水時の対応

5. 河川情報の収集・提供

6. 洪水ハザードマップの作成支援

7. 水防活動への支援強化

森吉山ダムの維持管理

洪水時や渇水時などにおいてダムの機能を最大限発揮させ、長期にわたって適正に運用する必要がある。



森吉山ダム

◆ 環境および水質の保全

- ・ダム建設に伴う生物の生息環境への影響についてモニタリングを継続し河川環境の保全を目的とした検討を進める
- ・水源地としての水質・生態系保全等に配慮した管理を行う

◆ 流入土砂・樹木対策

- ・ダム貯水池には毎年土砂の堆積や流木等が溜まる
- ・ダムの機能を維持するために適切に処理を実施する

◆ 堤体および湖面の維持管理（例）

- ・ダム施設の挙動・状態を常に監視・評価するとともに、適正に運用するため日常的な点検整備・計画的な維持修繕を実施する



堤体及び貯水池の
湖面からの巡視



施設の清掃



放流警報装置



貯水池内の流木及び土砂撤去